



# 会津若松市の樹木



会津若松市には、たくさんの古木や巨樹があり、地域の財産となっています。  
そのうち、天然記念物として文化財に指定されている樹木は 11 本あり、ここではそれらをご紹介します。

1

## 高瀬の大木 (ケヤキ)

たかせ



結実のようす

上杉景勝が慶長5年(1600年)に神指城を築こうとしたところにそびえ立つ巨木です。幹周約12m、樹高約24m。地元の方々が管理する桜に囲まれる春の景観は、とても美しいものとなります。

また、高く盛られた土塁の跡に立つ高瀬のケヤキからは、風光明媚な会津盆地と磐梯山の景色を眺めることができます。

幹割れや枝折れを防ぐための支柱設置や、土壌踏圧防止のための木道設置など、樹勢を保つための保全治療を実施しています。

国指定天然記念物。神指町高瀬。

2

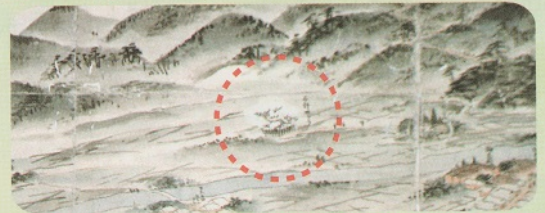
## 石部桜

いしべ



輩名の重臣、石部治部大輔の庭にあったと伝えられています。推定樹齢650年のエドヒガンで、樹高約11m、10本の幹全体の枝張は20mにも及び、淡い桜色の花びらと、地面から隆起した迫力ある根元は見応えがあります。大河ドラマ『八重の桜』のオープニングになりました。

一箕町八幡。



江戸時代に描かれた城下絵図の中に、周りを柵囲いされた石部桜があります。当時、お殿様も見に行くほどで、昔から大切にされていたことがわかります。

3

## 峰張ザクラ

みねはり



樹齢1000年を超えると伝えられている、樹高約14mのエドヒガンです。

蚕養国神社の境内にあり、ご神木となっています。その昔、雷に打たれる前は、高く枝張も大きかったと言われていますが、現在も春には美しく可憐な花を咲かせます。蚕養町。

4

## 平田櫨の木

けやき



下荒井地区にある延命地藏堂の傍らに立っています。文化4年(1807年)の火災の際、延命地藏はこの櫨の木に抱かれて焼失を免れたと言われています。北会津町下荒井。

5

## 熊野神社三幹の杉

さんかん



熊野神社の建立当時に植えられたとの推定から、樹齢は600年を超えます。同一の根元(幹周約6m)から3つに分かれ、それぞれが幹をなしています。北会津町下荒井。

### 観察・見学するときの注意点

- ▼長靴や長袖、帽子を着用するなど、服装や持ち物に十分気を配りましょう。
- ▼樹木に近付くと根元の土が踏み固められて根を傷つけてしまいます。近付き過ぎず、特に根を踏むことのないよう注意しましょう。
- ▼樹木の枝を折ったり、傷つけたりすることは絶対にしないでください。マナーを守って見学しましょう。